

ココ・シャネル初の香水と「コアジサイ」の香りに関する調査

シャネル初の香水とその香料構成

ガブリエル・“ココ”・シャネルが初めてプロデュースした香水は、1921年発売の「シャネル N°5」です¹。²。当時主流だったバラやスズラン（ミュゲ）単体の香り（モノフローラル）とは異なり、シャネル N°5は**天然香料と合成香料を合計80種類以上**も組み合わせて創られた非常に複雑な香りでした³⁴。調香師エルネスト・ボーによる香料構成の特徴は、南仏格拉斯産の高品質なジャスミンやローズなど贅沢なフローラルエッセンスを主体に、当時開発されたばかりの**合成香料アルデヒド**を大胆に大量配合した点です²。⁴。具体的なノート構成としては、トップノートにベルガモットやレモンなどのシトラス、ミドルノートにイランイラン、ローズ、スズラン、ジャスミンなど華やかな花々、ラストノートにベチバー（乾いた草のようなウッディ）、サンダルウッド、ムスク、アンバーなどが用いられ、さらにバニリン（バニラ様香料）、クマリン（甘い新刈草の香り）、ヘリオトロピン（甘いアーモンド様の花香）といった合成香料が加えられています²。アルデヒド（特に脂肪族アルデヒドC9〜C12）の強い拡散力が全体をまとめ上げ、かつてない抽象的でラグジュアリーな香りを実現しました⁵⁶。**この公式な香料リストの中に「コアジサイ（小紫陽花）」は含まれていません**。シャネル N°5は**フローラル・アルデヒド系**の代表作であり、“どの花にも似ていない”独自の香りとして100年経った今も愛され続けています⁶。

コアジサイ（*Hydrangea hirta*）の香りと香水業界での使用例

コアジサイ（小紫陽花）は日本固有種の山野低木で、他の多くのアジサイ属の花と違い**ほのかな甘い香り**を放つ珍しい花です⁷。コアジサイの花には装飾花（額のような大きな萼片）が無く小花が密集しており、その分香りで虫を引き寄せると考えられています⁸。その優しい芳香は**クマリン系の甘さ**（桜餅の葉や干し草のような香り成分）を含むとも言われ⁹、初夏の山林で薄青色の花とともに周囲にほのかに漂います。

しかし、**アジサイ属のエッセンシャルオイル（精油）は一般的ではなく、商業的な香料原料としてはほとんど利用例がありません**。実際には紫陽花の香りを直接抽出するのは難しく、もし抽出するとしても花ではなく根や葉から少量得られる程度で、1920年代当時に利用可能な原料ではなかったと考えられます（文献にも当時アジサイ精油の使用例は見当たりません）。現代では、一部に「ハイドランジア（*Hortensia*）」と称するフレグランスオイルが存在しますが、それらは**他の香料をブレンドして紫陽花の印象を表現した**ものです。例えば、日本のJ-Scentブランドが2017年に発売した「**紫陽花（Hydrangea）**」という香水は、ヒヤシンスやスマイレ（バイオレット）の青みを帯びたグリーンノートから始まり、ジャスミンやアイリスの生花のような香り、そしてシダーウッドの微かな木質感へと移ろう構成で、雨に濡れた紫陽花の風情を表現しています¹⁰。これは**実際に紫陽花の花から香料を取ったのではなく、複数の花の香りを組み合わせて“紫陽花らしさ”を再現した例**です¹⁰。他にもイタリアのレルボラリオ社から「**Ortensia（オルテンシア、=アジサイ）**」という香水シリーズが出ており、こちらもローズ、ジャスミン、スマイレなどを調合して柔らかな紫陽花のイメージを演出しています¹¹。このように**香水業界で「アジサイの香り」と言う場合、多くは実際のアジサイから抽出した香料ではなく、他の花やグリーンノートを組み合わせた創作的なフレグランス**です。

1921年当時にコアジサイの香料は使用可能だったか？

結論から言えば、1921年当時にコアジサイ（小紫陽花）の香りを香水原料として使用することは技術的・商業的に考えて困難でした。その理由は主に2点あります。第一に、当時の香料業界で利用されていた天然香料はジャスミン、ローズ、イランイラン、オレンジフラワー（ネロリ）など限られた花からの精油やアブソ

リュートが中心であり²、アジサイのようなマイナーな植物は対象になっていませんでした。コアジサイは確かに香りますが、前述の通り花から有効な量の精油を得るのは難しく、その存在自体が西欧の香料市場ではほぼ知られていなかったと考えられます。第二に、**1920年代の香水創作における革新的ポイントは合成香料（例えばアルデヒド類）の活用**であり⁵⁶、新しい抽象的な香りを作ることに重きが置かれていました。シャネル N°5も、特定の花（例えばバラやスズラン）一輪の香りを再現するのではなく、**複数の花のブーケにアルデヒドの煌めきを加えて「どの花とも特定できない」香りを目指した**ものです⁴。もし仮に当時シャネルが高山のコアジサイの芳香に気付いたとしても、それを素材として入手・抽出する手段がなく、また**香調設計上も必要とされなかった**と推測されます。実際、N°5の完成版の香りを分析した様々な資料にも**アジサイ由来の成分や言及は一切登場しません**²。以上から、**1921年当時にコアジサイの香料をシャネルが使用できた可能性は極めて低い**と言えます。

「コアジサイ香料使用」情報の出典と信憑性について

ご指摘の「ココ・シャネルが最初に作った香水にコアジサイの香りが採用されていた」という話は、調査した限り**信憑性の低い俗説**である可能性が高いです。この情報の出所を探ると、群馬県などの高原地域でコアジサイの香りを紹介する文脈で**繰り返し語られているローカルな伝聞**であることが分かりました。例えば、草津温泉のホテルのブログ（2013年）には「コアジサイの清楚な香り…この香りはなんと、ココ・シャネルが最初に作った時の香水の香りだとか!？」と疑問交じりに記されており¹²、群馬県榛名山に関する別のブログ記事（2012年）でも「このコアジサイ、とても良い香りなのです。**シャネルの香水の原料になったとも言われています。**」と紹介されています¹³。さらに遡ると2011年前後から、草津周辺の森林散策記などで「シャネルが最初の香水に使った香りってこの花かしら？」といった記述が散見され¹⁴、どうやら**高原のコアジサイの芳香を印象付けるための話題として広まった説**のようです。シャネル社公式の発表や香水専門家の解説書には、**このようなエピソードは全く出てきません**。由来を辿っても確かな文献や証拠が見当たらず、おそらく自然愛好家の間で生まれたロマンティックな**“俗説”**と考えるのが妥当でしょう。香水業界やシャネルの歴史に詳しい資料ほど、N°5の成功要因は前述のジャスミン・ローズ・アルデヒドなどにあると説明しており²⁴、**コアジサイについては一切触れられていない点からも、この情報の信憑性は極めて低い**と判断できます。したがって、「シャネルが最初の香水にコアジサイの香りを使った」という話は事実ではなく、誤情報である可能性が高いです。

参考文献・情報源（出典）

- ・シャネル N°5 の歴史・香料構成に関する解説（Garden Story等）²³
- ・香水業界における紫陽花の香りの取り扱い例（J-Scent公式サイト）¹⁰
- ・コアジサイの香りの特徴・植物学的解説（三河の植物観察ほか）⁷
- ・「コアジサイ＝シャネル香水原料」説が登場するブログ記事（草津温泉ホテル公式ブログ、森林セラピストブログ他）¹²¹³

¹² 草津スカイランドホテル公式ブログ「シャネルの香水と小紫陽花!？」（2013年7月12日）

³ GardenStory『名香シャネル5番の香りの秘密』（2017年12月19日）

² 香水レビューサイト「香LIG」内記事『シャネルN°5 香りの特徴と構成』より香料リスト抜粋

¹⁰ J-Scent公式サイト「紫陽花 オードパルファン」商品説明

¹³ 森林セラピストブログ「コアジサイは麗しの香り」（2012年7月22日）

⁷ 三河の植物観察サイト「コアジサイ Hydrangea hirta」解説ページ（香りに言及）

⁴ 『家庭画報』公式サイト「シャネルN°5 100年の物語」（2021年7月28日）より抜粋

- 3 香水の物語・香りの魔術師の最高傑作『シャネル5番』 | GardenStory (ガーデンストーリー)
<https://gardenstory.jp/lifestyle/7868>
- 4 6 「シャネル N°5」100年の物語。「何にも似ていない香り」はどのようにして生まれたのか
<https://www.kateigaho.com/article/detail/113614>
- 7 コアジサイ *Hydrangea hirta* アジサイ科 Hydrangeaceae アジサイ属 三河の植物観察
<https://mikawanoyasou.org/data/koajisai.htm>
- 8 13 コアジサイは麗しの香り | 森の癒しのヒミツを探る〜森と魂のセラピストブログ
<https://ameblo.jp/miyuki94-moritama/entry-12190017071.html>
- 9 コアジサイの黒葉 | 瀬戸 裕紀
https://note.com/julikis_seto/n/n7512499d2cab
- 10 W06 紫陽花 / *Hydrangea* オードパルファン - J-Scent (ジェイセント) - LUZ-Store (ルズストア) 香水のオンライン販売
https://www.luz-store.com/view/item/000000000116?srsId=AfmBOor-yuTVF9zqpMm9jX_psiGQtFjdwhZS4kYldavAdM9Y9Vw1TNG
- 11 Ortensia (*Hydrangea*) Perfume – L'erbolario
<https://www.naturalitaliancosmetics.com/product/ortensia-hydrangea-perfume/>
- 12 シャネルの香水と小紫陽花！？ - 【公式】草津温泉 草津スカイランドホテル 栖風亭
<https://skylandhotel.jp/2013/07/12/7958334/>
- 14 草津良いとこ〜♪ II 〜ベルツの森のコアジサイ〜 : Everyday wonderful day!
<https://nhana19.exblog.jp/15041985/>